Qriom DVD プレーヤー

保証書 持込修理

形　名	YBD-8350		
無料修理保証期間	本　体	御買い上げ年月日	年　月　日より1年間
お客様	ご芳名 ご住所	〒	様　電話
販売店	店　名 住　所		電話

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束したものです。
上記「無料修理保証期間」中に故障が発生した場合は、キュリオムサポートセンターに修理をご依頼下さい。

- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。なお修理に代えて、製品本体交換又は代替品交換とさせて頂く場合がありますので、ご了承下さい。メモリー等、記憶素子を搭載した製品の場合、お客様が記録されたデータは、修理又は製品本体交換によって残りませんので、あらかじめバックアップをお取り頂くよう御願い致します。
   なお、調査報告書の提出依頼等、修理・交換以上の責はご容赦ください。
2. ご転居、贈答品等で修理依頼ができない場合には、キュリオムサポートセンターへご相談下さい。
   [キュリオムサポートセンター：0570-00-9106　受付時間：月～金午前10時～午後5時30分
   (土、日、祝祭日、年末年始を除く)＊ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合があります。]
3. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
   (ィ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
   (ロ) お買い上げ後の転倒、輸送、落下等による故障及び損傷。
   (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
   (ニ) 一般家庭以外（業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです、従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、キュリオムサポートセンターにお問い合わせてください。

※ 本保証書に記載された個人情報は本機の保証・サービスを目的としており、それ以外の目的で使用することはありません。

株式会社 山善 家庭機器事業部

関東営業部　〒110-0015　東京都台東区東上野2丁目1番11号 サンフィールドビル5階
大阪営業部　〒550-8660　大阪市西区立売堀3丁目2番5号
名古屋営業部　〒456-8588　名古屋市熱田区白鳥2丁目10番10号
九州営業部　〒812-8578　福岡市博多区博多駅南2丁目9番11号
東北営業部　〒984-8686　仙台市若林区御町3丁目7番7号

Qriom キュリオム

ブルーレイプレーヤー
取扱説明書（保証書付）
YBD-8350

BD LIVE　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　DVD VIDEO

DOLBY TRUE HD　dts Digital Entertainment　HDMI

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

ナビダイヤル **0570-00-9106**

受付時間：
月～金 午前１０時～午後５時３０分
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。
メールでのお問い合わせ：
E-mail ： support@qriom.com
ホームページ：http://www.qriom.com

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

Ver. 1.0.0

目　次

●安全上のご注意 ……P2~5
·絵表示について
·警告
·注意
·リモコンの取り扱いについて

●使用上のお願い ……P6~8
·守っていただきたいこと

●ご使用の前に ……P9~11
·取り扱い上の注意
·再生できるディスクについて
·ディスクについて
·リモコンについて

●各部名称 ……P12~13
·リモコン
·本体

●電源について ……P14
·電源

●テレビなどへの接続 ……P15~18
·HDMI出力
·映像·音声出力端子
·音声出力端子と音響機器
·LAN端子

●ディスクの再生 ……P19~20
·ディスクの再生方法
·基本操作

●さまざまな機能 ……P21~26
·リピート機能
·プログラム機能
·ブックマーク機能
·サーチ機能
·音声言語の切換
·字幕言語の切換
·アングル切換
·ズーム切換

●PiP再生 ……P27
·PiP再生（BDのみ）
·ディスクポップアップメニュー
·ディスク情報の表示

●BD-LIVEを楽しむには ……P28
·BD-LIVE

●音楽の再生 ……P29
·基本再生
·MP3音楽再生

●いろいろなファイルの再生 ……P30~31
·JPEG再生
·スライドショー

●システム設定……P32~40
·一般設定
·ディスプレイ設定
·オーディオ設定

●お手入れ ……P41
·本体のお手入れ
·ピックアップレンズのお手入れ
·ディスクのお手入れ

●故障かな?と思ったら ……P42

●仕様 ……P43

●保証とアフターサービス ……P44

●保証書 ……裏表紙

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。

注意　けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
一般的注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示	電源プラグを抜く

⚠ 警　告

禁　止

電源コードを傷つけないでください。
火災·感電などの原因となります。

·設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしないでください。
·電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください。
·重いものを乗せたり、引っ張ったりしないでください。
·熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
·電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜く。

電源プラグを抜く

破損したり、異常が発生した場合は
電源プラグを抜いてください。
火災·感電などの原因となります。

·落としたり、本機の一部を破損した場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
·煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警　告

ほこりを取る

電源プラグにほこりなどが付着しているときは、
電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。
·そのまま使用すると火災·感電の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
·感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグは確実に差し込んでください。
·差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災·感電の原因となることがあります。

禁　止

タコ足配線をしないでください。
·火災や感電の原因となることがあります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機や
電源プラグに触れないでください。
·感電の原因となります。

禁　止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり
入れたりしないでください。
·火災や感電の原因となることがあります。万一異物が入ったときは、すぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。

分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。
·内部には電圧の高い部分があるため、触れると感電の原因となります。
※本体を分解すると保証期間であっても
保証の対象外となりますので、ご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警　告

禁　止

不安定な場所に置かないでください。
·落下したりして、けがの原因となります。

禁　止

湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください。
·火災·感電の原因となることがあります。

禁　止

重いものを置いたり、他の機器を重ねて置いたりしないでください。
·故障や火災などの原因となることがあります。

禁　止

風通しの悪い所やじゅうたんの上に置いたり、
布などをかけないでください。
·内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。。

水ぬれ禁止

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください。
·水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。
万一水が入ったときはすぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警　告

接続線をはずす

移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください。

·コードが傷つき火災·感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

お手入れや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

·感電や火災の原因となることがあります。

ほこりを取る

通風口に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。

·火災の原因となることがあります。

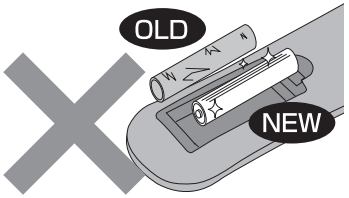
リモコンの取り扱いについて

禁　止

指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

·破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

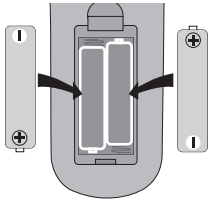
※同梱の確認用電池は、早急にアルカリ電池等と交換してください。



表示通りに入れる

電池の+と–の向きを正しく入れてください。

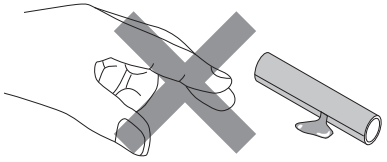
·破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



接触禁止

アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください。

·皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。



使用上のお願い

守っていただきたいこと

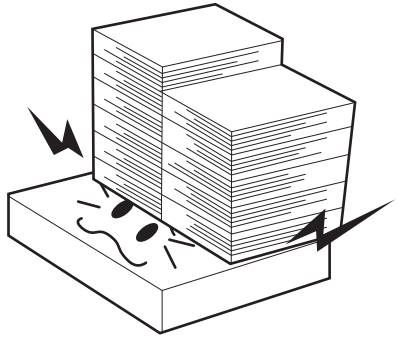
国外では使用できません。

·この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in japan only and cannot be used in any other country.

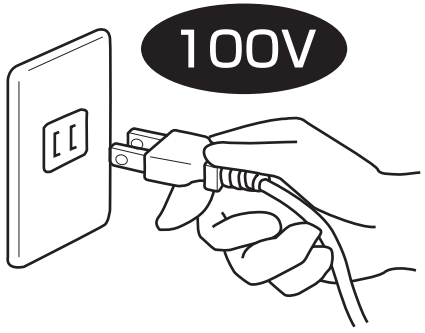
設置について

·発熱する機器の近くや直射日光の当たる場所には本機を置かないでください。
·本機の上には物を置かないでください。
·不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。
·窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。



電源·電圧について。

·AC100V 50/60Hz以外の電源は使わないでください。指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

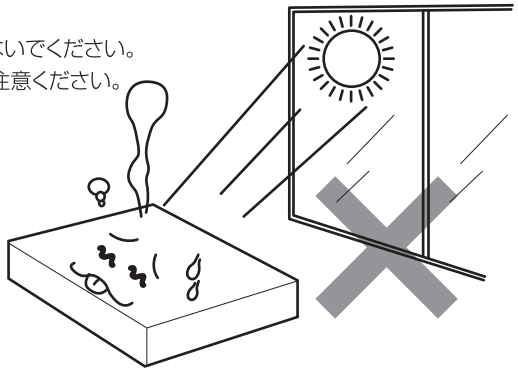


使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

直射日光や熱気を避けてください。

·直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
·窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が
高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが
変形したり、故障の原因となることがあります。

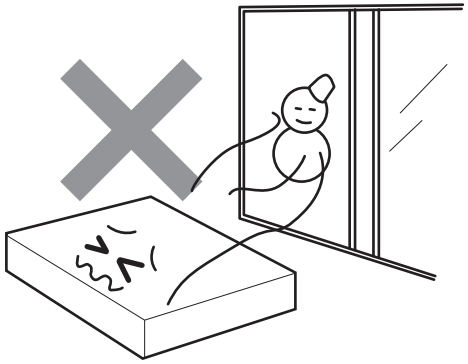


急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。

·急激な温度変化が起こる部屋（場所）での
ご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合。

·低温になる場所には放置しないでください。
キャビネットの変形や故障の原因となります。



注　意

結露について

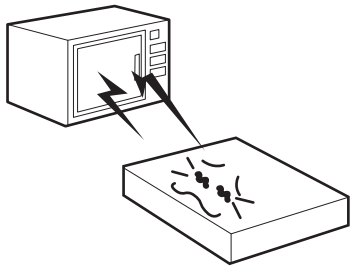
·本機を寒い場所から急に暖かい場所に持込んだときや冬の朝など暖房を
入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生する
ことがあります。そのまま使用になると故障の原因となりますので、結露が
起きた時は結露がなくなるまで電源プラグをコンセントに接続しないでくだ
さい。

使用上のお願い（つづき）

守っていただきたいこと（つづき）

電磁波妨害に注意してください。

·本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、
電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が
発生したりすることがあります。



ディスクの取り扱いについて

·直射日光の当たる所や熱器具の近くなど高温になる所には保管しないでください。また、湿気の多い
所や極端に温度の低い所も避けてください。
·ご使用後は、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、斜めに立て掛けたりする
と、そりの原因となります。
·紙やシールなどを貼付けたり、ペンなどで書き込みしないでください。
·ディスクの信号面に手を触れないように持ってください。
·指紋やホコリによる汚れは画質や音質低下の原因となります。いつも綺麗にしておきましょう。
·お手入れの際は、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。
·ベンジン·シンナー·レコードクリーナー·静電気防止剤等はディスクを傷めることがありますので、
使わないでください。

お手入れの仕方

·お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
·汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
·汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布を
よく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
·殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、
ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
跡がついたり、変色などの原因となります。

取り扱いの注意

■著作権について

●ディスクを無断で複製、放送、上映、公開演奏、レンタルすることは法律によって禁止されています。
●本機はマクロビジョンコーポレーション及びその他の権利所有者が所有する、米国特許上の権利及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許諾がない限り、一般家庭その他における限られた視聴以外に使用してはならないとされています。リバースエンジニアリングや改造は禁止されています。
●Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物、著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
●DTSとDTS Digital Outはデジタルシアターシステム社の商標です。
●DVDロゴ、Blue-rayロゴは商標です。

再生できるディスクについて

■再生できるディスクの種類

本機では右記のディスクを再生することができます。

ご注意

・本機は記録型メディアの再生全てを保証するものではありません。
・DVD-R/DVD-RWについて
本機は録画時にファイナライズ（※）されたDVD-R/DVD-RWの再生に対応しています。ただし、ビデオモードの記録に限ります。また、記録状態によっては再生できない場合があります。
・CD-R/CD-RWについて
本機は録音終了時にファイナライズ（※）された音楽用CD-RとCD-RW再生に対応しています。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
（※再生対応機器で再生できるように処理する事。）
・CD-R/CD-RWに記録されたJPEGファイルは記録状態により再生できない場合があります。
・リージョンコード「A」（BD）、「2」（DVD）または「ALL」（DVD）以外のDVDディスクは再生できません。
・複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。
・本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（SECAM/PAL）表示のディスクには使用できません。

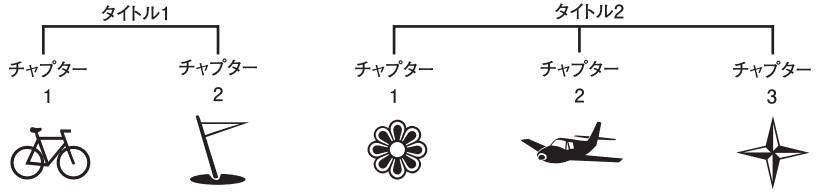
■リージョン

BD/DVDでは、国ごとに割り当てられた地域番号（リージョンコード）が定められており、BD/DVDソフトに表示されている地域番号（リージョンコード）と一致しないと再生できません。
本機（日本）のリージョンコードは「A」（BD）、「2」（DVD）です。
「A」、「ALL」または「2」が表示されているディスクに限り、再生することができます。

ディスクについて

■BD/DVDディスクの場合

BD/DVDビデオの内容は「タイトル」と「チャプター」という単位に分けられて構成されています。
〈タイトルとは〉
一般的にはBD/DVDビデオの中に複数の映画が収録されている場合、各映画ごとが1タイトルとなります。
〈チャプターとは〉
タイトルの中を場面ごとに区切ったものがチャプターとなります。



■CDの場合

CDは、「トラック」という単位に分けられて構成されています。
〈トラックとは〉
一般的にはCDの中に複数の音楽が収録されている場合、各曲ごとが1トラックとなります。

■MP3/JPEG（CD-R/CD-RW）の場合

MP3ファイル形式（**、mp3）/JPEGのデータ内容は、「フォルダ」と「ファイル」という単位に分けられて構成されています。
〈フォルダとは〉
複数のトラックをまとめたものが1フォルダとなります。

ご注意

一部のBD/DVDやCDにはタイトル・チャプター・トラック構造を持っていないものもあります。その場合はスキップなどの機能はご使用なれません。

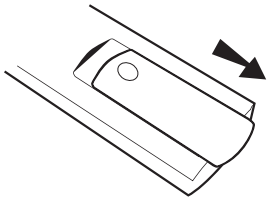
BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生じる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

ご使用の前に

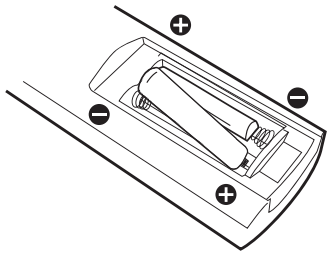
リモコンの電池を入れる

（付属の乾電池は動作確認用です。1年間の保証対象外となります。）

①リモコン背面のふたを下方向にスライドさせて、
ふたを開けます。



②電池の＋/ーの向きに注意して、
単4乾電池を2本入れます。



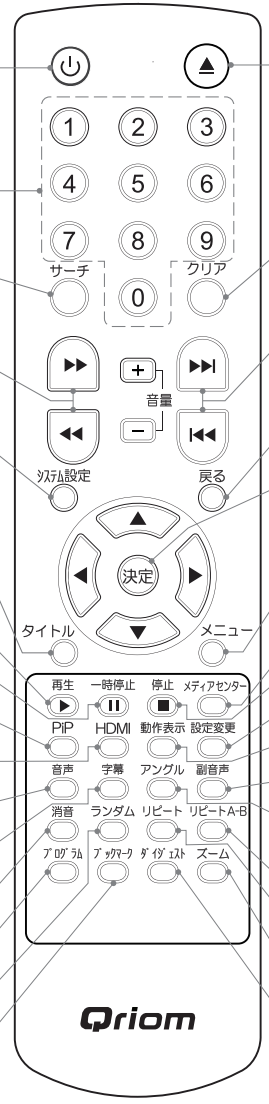
③ふたを閉じます。

※ご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないで下さい。
- リモコンに水をかけたり、濡れた物の上に置かないで下さい。故障の原因となります。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れ防止のため、電池を取り出しておいて下さい。
  万が一液漏れをしてしまったときは、リモコンに付いた液をよく拭き取り、新しい電池と交換して下さい。
- 付属の電池は初期動作確認用のため、新品の電池より寿命が短い場合があります。
  リモコンで操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。新しい電池と交換して下さい。
  （リモコン操作範囲は約5m・60°以内となります。）
- リモコンセンサーに直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなることがあります。光が直接当たらないようにして下さい。
- 電池を挿入する場合は、向きに注意し、表示通り正しく入れて下さい。間違えますと、電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

各部名称

リモコン



電源ボタン:
電源のオン･オフを行います。

数字ボタン（0～9）:
番号入力時に使用します。

サーチボタン:
特定のトラックや時間にジャンプします。

早送り/早戻しボタン:
早送り/早戻しします。

システム設定ボタン:
システム設定を変更します。

タイトルボタン:
（BDのみ）
ポップアップメニューを表示します。
タイトルメニュー画面に戻ります。
※対応しているディスクのみ使用可能です。

再生ボタン:
ディスクを再生します。

一時停止ボタン:
再生を一時停止します。

PiPボタン:
PiP機能のオン･オフを切り替えます。
※PiP対応のBDのみ使用可能です。

HDMIボタン:
HDMI解像度選択ボタン。

音声ボタン:
BD/DVDに収録されている中から、
目的の音声を選びます。

字幕ボタン:
BD/DVDに収録されている中から、
目的の字幕を選びます。

消音ボタン:
音声を消します。もう一度押すと解除されます。

プログラムボタン（CD/DVDのみ）:
チャプター又はトラックを設定の順に再生します。

ランダムボタン(CD):
トラックをランダムな順番で再生します。

ブックマークボタン:
ディスクの特定の時間をブックマークします。

開閉ボタン:
ディスクトレイの開閉を行います。

クリアボタン:
数字ボタンで入力した内容を
クリアします。

スキップボタン:
再生中に押すと次または前のチャプター
/トラック/ファイルにスキップします。

戻るボタン(DVDのみ):
前のメニュー画面に戻ります。

カーソル/決定ボタン

メニューボタン:
DVDメインメニュー画面に戻ります。

メディアセンターボタン:
USB/ディスクなどの各メディアを再生します。

停止ボタン:
再生時に一度押すと再生が停止されます。

設定変更ボタン:
操作設定メニューを表示します。

動作表示ボタン:
再生ディスクの現在情報を表示します。

副音声ボタン:
BDに収録されている副音声に切り替えます。
※対応しているディスクのみ使用可能です。

アングルボタン:
目的のカメラアングルを選びます。
※BD/DVDで、複数のアングルが収録されている時のみ使用できます。

リピートA-Bボタン:
ある一定区間を繰り返し再生します。

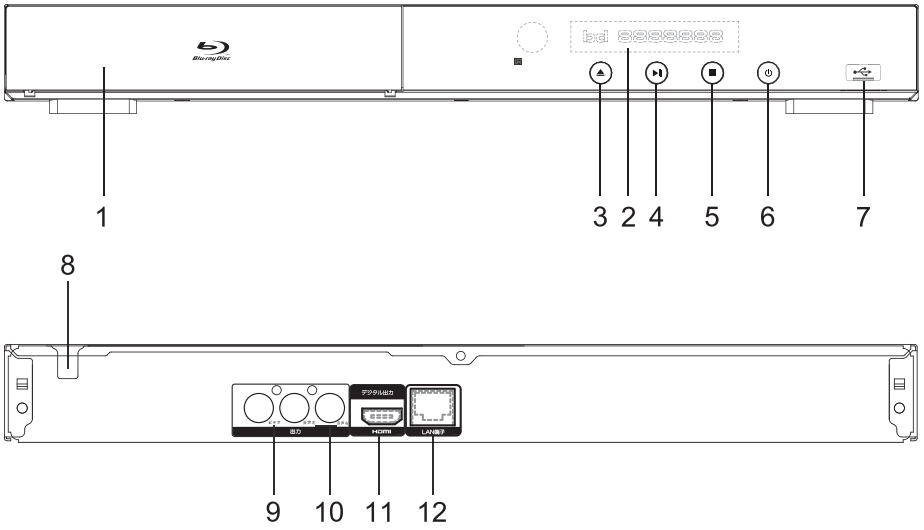
リピートボタン:
目的のトラック、チャプター、タイトル
または全体を繰り返し再生します。

ズームボタン:
再生中に押すと画像を拡大します。

ダイジェストボタン（BDのみ）:
ダイジェスト再生モードにアクセスします。
（ビデオダイジェストには対応していません）

各部名称

本　　体



1)ディスクトレイ

2)液晶ディスプレイ

3)開閉ボタン
ディスクトレイの開閉を行います。

4)再生/一時停止ボタン
ディスクを再生します。
もう一度押すと一時停止します。

5)停止ボタン
再生を停止します。

6)電源ボタン
電源を入れたり、スタンバイモードにするときに使用します。赤のランプの点灯している時がスタンバイ状態です。

7)USB端子

8)電源コード

9)映像出力端子
TVやモニターのAV端子に接続し、色を忠実に再現します。

10)音声出力(左/右)

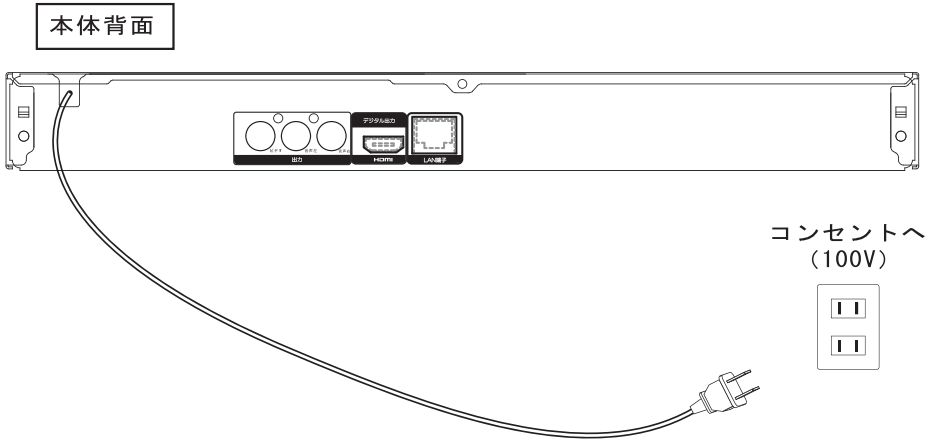
11)HDMI出力
HDMI端子付のTVやモニターに接続し、高音質・高画質が楽しめます。

12)LAN端子

電源について

電　　源

①電源プラグをコンセントへ差し込みます。



※ご注意
・感電をさけるため、電源プラグはしっかり差し込んで下さい。濡れた手で触らないで下さい。
・長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いて下さい。

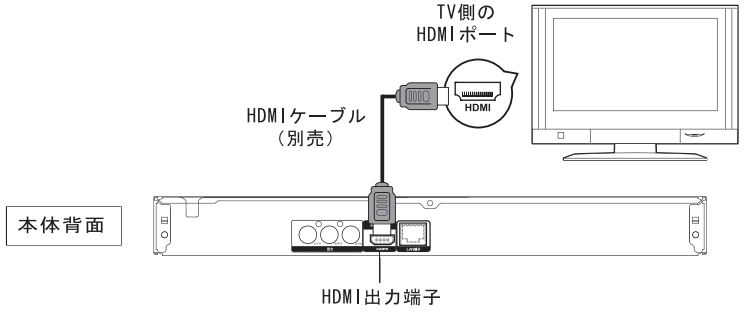
テレビなどへの接続

HDMI出力

HDMI対応テレビなどと本製品をHDMIケーブル（付属）で接続することによって、高画質の映像と音声をお楽しみいただけます。

①本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。

②HDMIケーブル（付属）を本体背面のHDMI出力端子に差し込み、反対側をTVのHDMI端子に接続して下さい。



＊映像を最も効果的にするには、解像度ボタンを押して、TVが対応している最も良い解像度を選択して下さい。

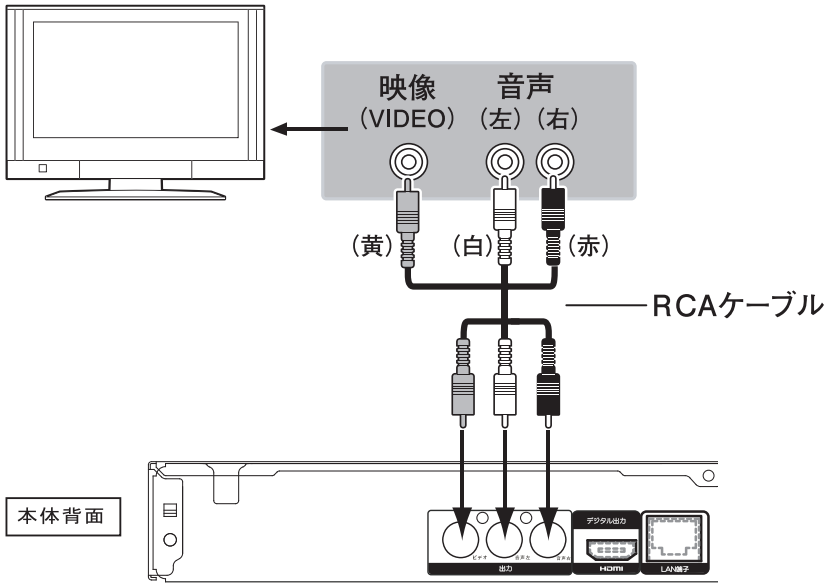
※ご注意
・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
・テレビ側の入力をHDMIに選択して下さい。お使いのテレビの取扱説明書も同様に参照して下さい。

テレビなどへの接続

映像・音声出力端子

①本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。

②赤・白・黄色のRCAケーブル（付属）の赤と白のプラグを本体背面のステレオ音声左/右出力端子に差し込み、反対側をTVの音声入力端子に接続します。又、黄色のケーブルのプラグを同様に本機背面の映像端子に差し込み、反対側をTVの映像入力端子に接続します。



※端子にケーブルをしっかり差し込んでください。
緩く接続されていると、映像が出ない場合があります。

※ご注意
・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
・本製品と外部機器は直接接続して下さい。例えば、本製品の出力をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止機能が働き、正常な画像で出力できないことがあります。

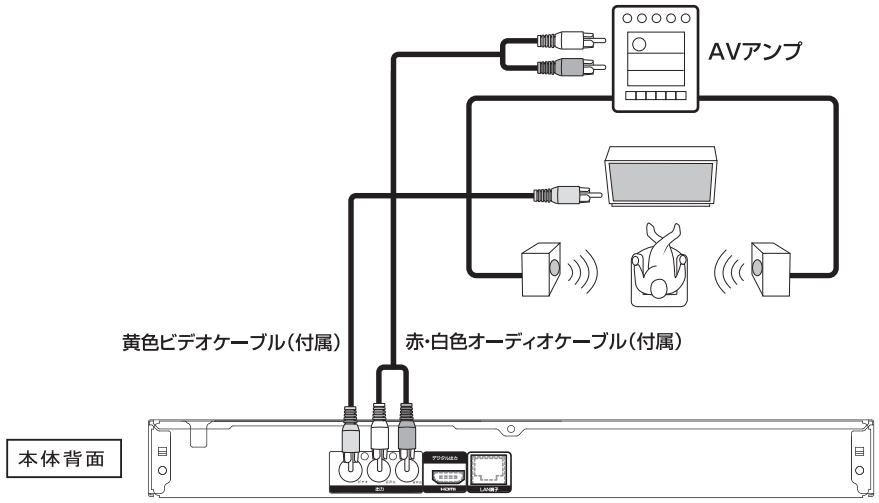
テレビなどへの接続

音声出力端子と音響機器

本製品をオーディオ機器（別売）などに接続して、高音質の音声をお楽しみいただけます。

①本製品および接続する機器の電源をオフにして下さい。

②付属のRCAケーブルを本体背面のステレオ音声左/右出力端子に差し込み、反対側をテレビまたは
オーディオ機器の音声入力端子に接続します。



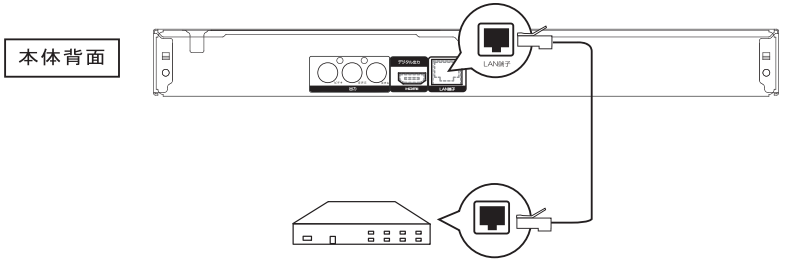
※ご注意
・接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

テレビなどへの接続

LAN端子

本製品をネットワーク接続することで、ソフトウェアなどを楽しむことが出来ます。

①LAN（別売）を本体背面のLAN端子に差し込み、反対側をモデムまたはルーターやハブに接続します。



※ご注意
・接続するときは、必ず本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
・インターネットに接続する前に、本製品を初期設定にして下さい。

ディスクの再生

ディスクの再生方法

この取扱説明書は本機の基本的な操作方法を説明しています。DVDのディスクの中には再生時に特別なプログラムや一部制限されたソフトがあり、本機の全ての機能を使えないものもあります。
この取扱説明書の機能が全て使用できない場合も故障ではありません。例えば、一部のDVDディスクではチャプターが一つしかない場合、スキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)が説明書通り働きません。
またアングル機能もディスクによって使用できない場合があります。ディスクがその機能に対応していない場合や本機がディスクの内容に対応していないときは、⃠ と表示されます。この表示がでたときは、その機能が再生中のディスクに含まれていない可能性があります。

①電源ボタンを押します。

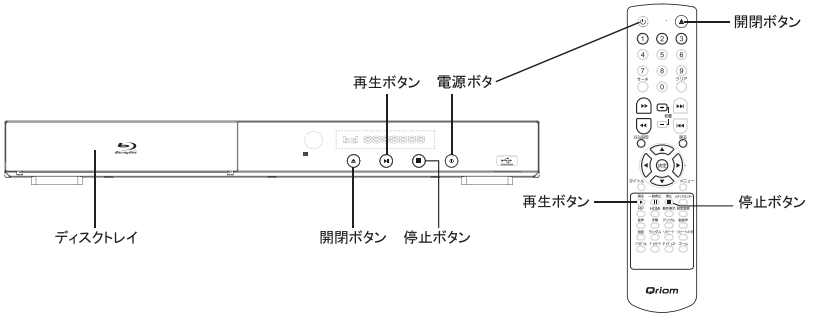
②開閉ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。

③ディスクを入れて下さい。
ディスクに指紋や汚れがつくと読み取りできないことがあります。
ディスクの外周を持って注意して装着して下さい。
ディスクが裏表逆などになっていると‘ディスクなし(no disc)’や‘不良ディスク(Bad Disc)’と表示されます。

④開閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。

⑤ディスクの読み取りが始まり、自動的にディスクの再生が始まります。

※ディスクが自動的に再生されない場合は、本体またはリモコンの再生ボタンを押してディスクを再生して下さい。



※ご注意
・BD-R/BD-REおよびDVD-R/DVD-RWなどに記録された映像も再生可能ですが、ディスクの記録状態により再生できない場合もあります。
・再生中は本機を移動させたりしないで下さい。再生中に動かすとプレーヤーだけでなくディスクにも損傷を与える可能性があります。
・ディスクを一時停止または停止してから5分以内に何もボタンを押さないとスクリーンセーバーになります。どれかボタンを押すと元の画面に戻ります。

※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

ディスクの再生

基本操作

◆ディスクの一時停止

再生を一時停止するには再生中に本体の▶II 再生/一時停止ボタンまたはリモコンのII 一時停止ボタンを押して下さい。
再び再生するには、▶ 再生ボタンを押して下さい。

◆ディスクの停止

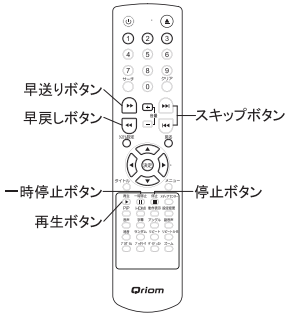
再生を停止するには■停止ボタンを押して下さい。
＊Java機能のついたBDは、レジューム機能に対応していません。

◆早送り・早戻しするには

ディスクの再生中に▶▶早送りまたは◀◀早戻しボタンを押して下さい。
早送り・早戻しのスピードは
▶▶2 → ▶▶4 → ▶▶8 → ▶▶16 → ▶▶32
◀◀2 → ◀◀4 → ◀◀8 → ◀◀16 → ◀◀32
となります。早送り・早戻しを終了するには ▶ 再生ボタンを押します。
※ディスクのWARNING部分は早送り・早戻しはできません。早送り・早戻し中は音声出力されません。

◆別のトラックに移動するには(スキップ機能)

BD/DVD/音楽CDディスク再生時に前のチャプター/トラックに移動したいときは、|◀◀ スキップボタンを順次押すと前のチャプター/トラックへ移動できます。
また次のチャプター/トラックに移動する時は ▶▶|スキップボタンで同様な操作をして下さい。
音楽CDはリモコンの数字キーで直接トラック番号を入れることでそのトラックに移動し再生することができます。



※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

さまざまな機能

各種の機能はBDおよびDVDディスクに入っている機能を操作するものです。
ディスクに入っていない情報は機能しません。また、ディスクによっては機能がロックされて選択しても設定できない機能もあります。

リピート機能

◆リピート再生

リモコンのリピートボタンでチャプター、タイトル、またはトラックをリピート再生することができます。
リピートボタンを押すごとに下記の通り切り替わります。

＊BDの場合
チャプターを繰り返すCH → タイトルを繰り返すTT → 全部を繰り返すALL → リピートオフ

＊DVDの場合
チャプターを繰り返すCH → タイトルを繰り返すTT → 全部を繰り返すALL → リピートオフ

＊CDの場合
トラックを繰り返す → 全てを繰り返す → リピートオフ

◆A-Bリピート再生

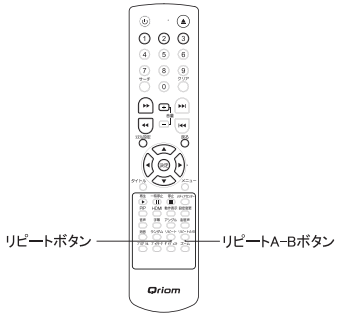
特定の区間を繰り返し再生します。

①再生中にリピート再生を開始したいところでリモコンのリピートA-Bボタンを押します。
画面上に“リピートA”と表示されます。

②リピート再生を終了したいところで再度リピートA-Bボタンを押します。
画面上に“リピートA-B”と表示されます。

③指定した区間の再生を開始します。

④リピートを解除するには、再度A-Bボタンを押します。



※ご注意
・特定区間のリピートが機能しないディスクもあります。MP3ディスクでは機能しません。
・A-Bリピート再生は、同じタイトル内でのみ動作します。始点と終点を異なるタイトル内で設定すると、A-Bリピート再生はキャンセルされます。
・A-Bリピート再生は、異なるカメラアングルが収録されている場合には、動作しません。

※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

さまざまな機能

各種の機能はBDおよびDVDディスクに入っている機能を操作するものです。
ディスクに入っていない情報は機能しません。また、ディスクによっては機能がロックされて選択しても設定できない機能もあります。

プログラム機能

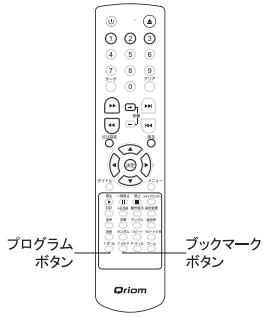
プログラム再生機能で、タイトルやチャプター、トラックをお好みの順番に再生することができます。
最大15メモリーまでプログラム可能です。

①ディスクが挿入されている状態でプログラムボタンを押します。
②決定ボタンを押します。
③カーソルボタンまたは数字ボタンで希望する順番にTT列にタイトル番号を、CH列にチャプター番号を、CDの場合はトラック番号を2桁で入力します。
④決定ボタンを押し、次のプログラムをプログラムします。
⑤プログラムが完了したら、再生ボタンを押します。
⑥プログラム再生を解除するには再生中にプログラムボタンを押し、戻るボタンを押します。

※ご注意
・ディスクによってはプログラム再生できないものもあります。

ブックマーク機能

①ブックマークは12ヶ所につけられます。
②12ヶ所にブックマークをつけておくと好きな箇所に簡単に飛ぶことができます。
③ブックマークボタンを約5秒間押すとブックマークした箇所が表示されます。
④◀▶ボタンでブックマークした箇所を選択し、再生ボタンか決定ボタンを押します。
⑤ブックマークを解除するにはブックマークボタンを約5秒間押して、表示が出たらクリアボタンを押すと1タイトルずつ解除できます。



※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

さまざまな機能

各種の機能はBDおよびDVDディスクに入っている機能を操作するものです。
ディスクに入っていない情報は機能しません。また、ディスクによっては機能がロックされて選択しても設定できない機能もあります。

サーチ機能

サーチボタンを押して10秒以上操作しない場合、もしくは項目を選択し、決定ボタンを押さないと選択できなくなります。もう一度選択する場合は、サーチボタンを押してサーチ表示を消してからサーチボタンをもう一度押して下さい。
BDやDVDディスクに「タイトル」「チャプター」「時間」の情報が入っていない場合は、選択できません。

◆タイトルを指定する

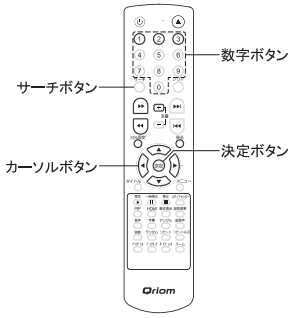
希望のタイトルを指定して再生することができます。
※DVDの場合、タイトルはほとんど1つで、その場合選択出来ません。

①リモコンのサーチボタンを押します。
②カーソルの◀ ▶ ボタンを押して、 を選択します。
③決定ボタンを押します。
④カーソルの ▲▼ ボタンまたは数字ボタンで設定します。
⑤決定ボタンを押します。
⑥入力したタイトルから再生がスタートします。

◆チャプターを指定する

希望のチャプターを指定して再生することができます。

①リモコンのサーチボタンを押します。
②カーソルの◀▶ ボタンを押して、 を選択します。
③決定ボタンを押します。
④カーソルの ▲▼ ボタンまたは数字ボタンで設定します。
⑤決定ボタンを押します。
⑥入力したチャプターから再生がスタートします。



※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

さまざまな機能

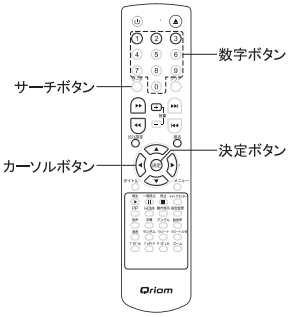
各種の機能はBDおよびDVDディスクに入っている機能を操作するものです。
ディスクに入っていない情報は機能しません。また、ディスクによっては機能がロックされて選択しても設定できない機能もあります。

サーチ機能

◆時間を指定する

希望の時間を指定して再生することができます。

①リモコンのサーチボタンを押します。
②カーソルの ◀ ▶ ボタンを押して時間を設定する項目 を選択します。
③カーソルの ▲▼ ボタンでチャプタータイムかトータルタイムを選択します。
④決定ボタンを押します。
⑤カーソルの ◀ ▶ ボタンで「時」「分」「秒」を設定します。
⑥カーソルの ▲▼ ボタンまたは数字ボタンで設定します。
⑦決定ボタンを押します。
⑧入力した時間から再生がスタートします。



※ご注意
・ディスクによっては操作に反応しないものもあります。
・シーンによっては、設定した通りに正確にジャンプしないものもあります。
・目的のシーンにジャンプする方法は、同じタイトル内でのみ有効です。

※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

さまざまな機能

音声言語の切換

BD/DVDディスクの中には複数の音声出力や言語が収録されているものがあります。

①再生中にリモコンの音声ボタンを押すと収録されている音声方式/言語の総数と現在選択されている番号が画面に表示されます。

②音声ボタンを繰り返し押していくと、聴きたい音声方式/言語に設定ができます。
※収録されている音声出力/言語が一つの場合、音声ボタンを押しても番号はかわりません。

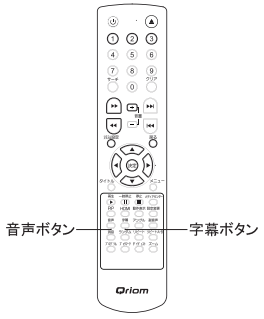
字幕言語の切換

ディスクの中には複数の字幕言語が収録されているものがあります。

①再生中にリモコンの字幕ボタンを押すと収録されている字幕言語の総数と現在選択されている番号が画面に表示されます。

②字幕ボタンを繰り返し押していくと、字幕言語を変更できます。

※ご注意
・ディスクによっては、字幕設定が自動的にされているものもあります。その時は、字幕設定をオフにしても字幕を非表示にすることができません。
・収録されている字幕言語が一つの場合、字幕ボタンを押しても言語はかわりません。
・収録されている字幕言語数はディスクによって異なります。
・字幕ボタンを数秒間押されない場合は、現在の字幕言語のまま再生されます。
・字幕言語はディスクのメニュー画面から設定するものもあります。メニューボタンを押してメニュー画面で設定して下さい。



※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

さまざまな機能

アングル切換

ディスクによってはいくつかの異なるカメラアングル（角度）で撮影された映像を収録しているものがあります。
それらのディスクではマルチアングル機能を使い、異なる角度からの映像を選んでお楽しみいただけます。

①アングル機能に対応したディスクの再生中にリモコンのアングルボタンを押すと、現在再生中のアングル番号が表示されます。
②順次アングルボタンを押してゆくと、ディスクのアングルの異なる映像が次々と再生されます。
＊約2秒後に選択したアングルで再生します。
＊10秒以内に何も押さなければ、現在の画面から変更せず再生します。

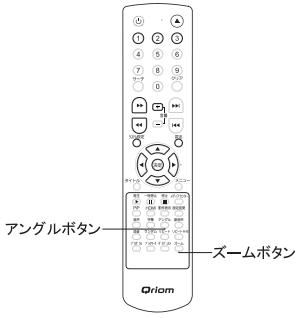
※アングル機能は複数のアングルを持つディスクのみが再生できるもので、1つのアングルしか無い場合は画面上に ⃠ と表示され、アングルは変化しません。

ズーム切換

①ディスクの再生中にリモコンのズームボタンを押します。
②ズーム中にカーソルボタン▲▼◀▶を使用して見たい部分に移動することができます。
③ズームボタンを押すごとに拡大率が下記の通りに変わります。

2倍→3倍→4倍→1/2ズーム→1/3ズーム→1/4ズーム→標準

※画像の端まで移動すると、それ以上は移動できません。



※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

PiP再生

PiP再生（BDのみ）

Blu-rayディスクの中には、PiP（Picture-in-Picture）モードに対応しているものもあります。
PiPモードを使うと、メイン画面がフルスクリーンで表示され、サブ画面が隅に表示されます。

①リモコンのPiPボタンを押して、PiPモードのオン・オフを切り替えます。

②リモコンの副音声ボタンを押して、PiPウィンドウ内とメイン画面の音声変更をします。

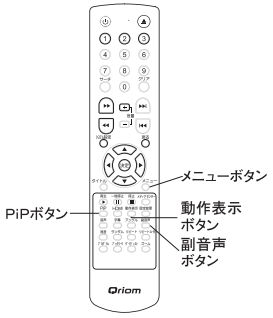
③カーソルボタンを押して決定ボタンを押し、目的の設定に変更します。

※ご注意
・音声で選択できるオプションは、ディスクによって異なります。
・PiP機能はPicture-in-Picture機能に対応しているBDのみ再生できます。

ディスクポップアップメニュー（対応しているBDのみ）

①BD/DVDの再生中にリモコンのメニューボタンを押すと、BDのポップアップメニューやDVDのタイトルメニューが表示されます。

②カーソルボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押します。



ディスク情報の表示

リモコンの動作表示ボタンを押すと、ディスクのタイプ、現在のタイトルの経過時間などのディスクについての情報が表示されます。
再度押すと、通常の画面に戻ります。

※BD以外では、表示されるディスク情報は異なります。

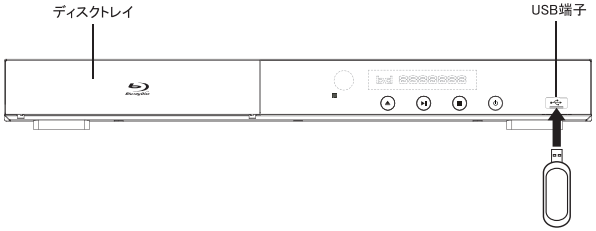
※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

BD-LIVEを楽しむには

BD-LIVE

BD-LIVEのボーナス特典があるBDは、本機をインターネットに接続することにより接続したPCのローカル保存場所または接続したUSBにダウンロードすることが出来ます。

①USBにダウンロードする場合は、USBを本体前面にあるUSB端子に接続します。



※ご注意
・USBにダウンロードする場合は、データ量に応じた2GB 以上の容量があるUSBをお使い下さい。

※BD/DVDの一般市販ディスクは機能制限をかけている場合があります。
その場合、本体やリモコンの操作はできません。本機は動画再生を優先して動作する設定になっています。
動画再生に支障が生ずる場合は操作できない場合がありますが、故障ではありません。

Blu-rayディスク再生スタート画面に右記のメニューが出ます。
これは、BD-LIVE対応ディスクの為のメニューです。
通常のBlu-rayディスクの場合、このメニューは3秒程で自動的に消えます。
操作は何も要りません。

USBメモリーチェック

⚠ USBメモリーをチェックしています。

音楽の再生

基本再生

①スタンバイボタンを押します。
②開閉ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。
③ディスクを入れてください。
　ディスクに指紋や汚れがつくと読み取りできないことがあります。
　ディスクの外周を持って注意して装着してください。
　ディスクが裏表逆などになっていると‘ディスクなし’や‘不良ディスク’と表示されます。
④開閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。
⑤ディスクの読み取りが始まり、自動的にディスクの再生が始まります。
※ディスクが自動的に再生されない場合は、▶再生ボタンを押してディスクを再生してください。

その他の基本動作

⏸	再生を一時停止します。
■	再生を停止します。
⏮ ⏭	前または次のトラックへスキップします。
◀◀ ▶▶	早戻しまたは早送りします。 押すたびにスピードが変わります。

MP3音楽再生

①MP3 ディスクをディスクトレイに入れます。
②認識された「Data Disc」の音楽ファイルを選択し、決定ボタンを押します。
③再生するファイルを選択し、決定ボタンを押します。

※ご注意
・CD-R/CD-RWなどに記録された音楽も再生可能ですが、ディスクの記録状態により再生できない場合もあります。
・MP3PROには対応していません。
・本製品は半角英数字以外の文字に対応していません。半角英数字以外の文字で記録された曲名（ID3）、およびアルバム名などは、文字化けするなど正しく表示されない場合があります。

いろいろなファイルの再生

JPEG再生

本製品では静止画（JPEG）ファイルを再生することができます。

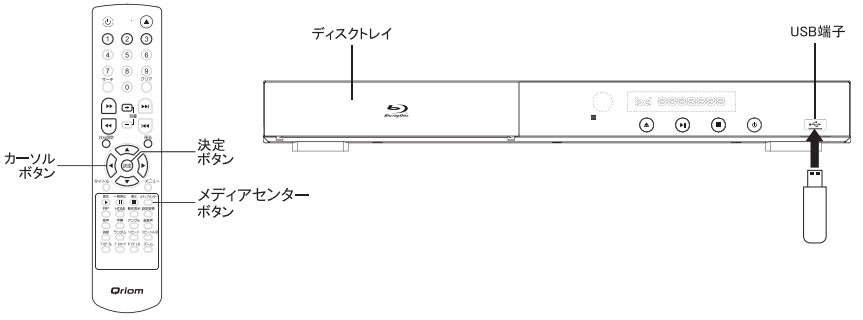
①ディスクまたはUSBを挿入して、メディアセンターボタンを押します。
②2～3 秒後に認識された「データディスク」又は「USB メモリー 1」を選択し、
　その中の「画像」フォルダを選択し、決定ボタンを押します。
③カーソルボタンを押して、再生したいファイルを選択します。
④画像を拡大またはスライドショーを始めたい場合は決定ボタンを押します。
⑤再生が終わり、ディスク又は USB を外し、又メディアセンターボタンを押して終了します。

注意 :USB 接続端子にはスライドドアーが付いています。
左側にドアーをスライドしてから USB を挿入してください。
無理にUSBを挿入しない。又、USB端子の向きに注意する。

基本動作

◀▶	反時計回り/時計回りに回転します。
▲▼	平行/垂直に反転します。
■	再生を停止します。

※ご注意
・表示されないファイルは本機では再生できません。また、表示されているファイルでも再生できない場合があります。
・ファイル名に表示できないコードがあるときは、文字化けを起こす場合があります。
・膨大な数量の写真がある場合は、ディスク内容を表示するのに時間がかかる場合があります。
・本製品ではMotion JPEG・JPEG以外のフォーマット形式の画像・サウンドクリップは再生できません。



いろいろなファイルの再生

スライドショー

本製品では静止画（JPEG）ファイルをスライドショーで再生することができます。

①再生中に ⏭ / ⏮ **もしくは** ⏩ / ⏪ **を押すとスライドショーが見れます。**

システム一般設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの ◀ ▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ ボタンでさらなる詳細を選択します。
　前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊システム設定

項目	詳細
スクリーンセーバー	再生画面の一時停止状態が続くと液晶画面の焼き付きが起こる原因となります。本機能はこの現象を防止することができます。 〇オン …**通常オンにします。** ●オフ
ディスク自動 再生	自動再生機能が働きます。 〇オン …**通常オンにします。** ●オフ
工場出荷設定の読み込み	設定を工場出荷時の初期設定に戻します。 デフォルトの設定を読み込むにはOKを選択します。
アップグレード	**通常使用しません。**
簡単なセットアップ	簡単設定モードを選択します。 画面に従って決定ボタンを押します。設定変更する項目を▲▼ボタンで選択して決定ボタンを押します。
USB	**通常使用しません。**

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システム一般設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの ◀ ▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ ボタンでさらなる詳細を選択します。
　前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊言語設定 ……通常リモコンで設定します。

項目	詳細
表示言語	操作時の表示の言語を選択します。
メニュー	メニューの言語を選択します。
音声	音声の言語を選択します。
字幕	字幕の言語を選択します。 オフを選択すると字幕言語は画面に表示されません。

※ご注意
・ディスクに収録されていない言語は設定できません。

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システム一般設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの ◀ ▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ ボタンでさらなる詳細を選択します。
　前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊再生設定 ……通常リモコンで設定します。

項目	詳細
クローズドキャプション	この項はリモコンで設定出来ません。通常OFFに設定します。 〇On ●Off
アングルマーク	アングルマークのオン・オフを選択します。 〇On ●Off
PiPマーク	PiPマークのオン・オフを選択します。 〇On ●Off
セカンダリーオーディオ	副音声機能のオン・オフを選択します。 〇On ●Off

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システム一般設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊セキュリティ設定 ……通常この設定は変更しません。

項目	詳細
視聴制限	視聴制限レベルを変更するにはパスワードが必要です。 初期パスワードは0000です。 視聴制限の機能でお子様には見せたくない暴力シーンや成人向けBD/DVDソフトの再生を制限できます。 （ディスクによっては視聴制限のできないものもあります。） 視聴制限レベルは下記のように分かれています。 カーソルで選択して、決定を押します。 ・オフ ・子供に安全 ・G ・PG ・PG-13 ・PGR ・R ・NC-17 ・成人向け

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システム一般設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊本製品をモデムまたはルーターに接続して下さい。
＊ネットワークに接続があるか確認を開始します。
＊接続テストが失敗した場合は、リトライを選択し決定を押すと、再度ネットワーク接続を開始します。

＊ネットワーク設定　**※通常以下の設定は変更しません。**

項目	詳細
インターネット接続	インターネット接続の状況を表示します。 〇有効にする　●使用停止
インフォメーション	ネットワークの情報を表示します。 ●インターフェイス　●アドレス入力 ●IPアドレス　●サブネットマスク ●初期ゲートウェイ　●DNS
接続テスト	インターネット接続の状況をテストします。
IPアドレス設定	その製品のIP設定をします。 〇自動　●手動
BD-Live接続	許可・一部許可・禁止の中から選択します。 〇許可　●一部許可 ●禁止
プロキシ設定	無効・可能・プロキシ ホスト・プロキシ ポートの中から選択します。 〇使用停止 ●有効にする -プロキシホストの設定 -プロキシポートの設定

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システムディスプレイ設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊テレビ画面設定

項目	詳細
テレビ画面	接続するテレビの形状に合わせて画面のサイズ：比率を選択します。 〇16:9フル　●16:9ノーマル ●4:3パンスキャン　●4:3レターボックス
解像度	お使いのテレビに合わせて解像度を選択します。 ※解像度はHDMIケーブルがテレビに接続された場合のみ選択できます。　自動を選択
TVシステム	お使いのテレビに合わせて選択します。 〇NTSC　NTSC方式で録画されたディスクを再生します。 ●PAL　PAL方式で録画されたディスクを再生します。 ●マルチ　録画方式を自動的に選択して再生します。 日本のテレビ方式はNTSCです。**※通常変更しません。**
映像信号	カラースペースを選択します。 〇YCbCr　●YcbCr422　**※通常変更しません。**
HDMIディープカラー	HDMIのディープカラーを選択します。 ●30ビット　●36ビット ●48ビット　〇Off　**※通常変更しません。**
HDMI1080P24Hz	HDMI 1080P 24Hzのオン・オフを選択します。 ●On　〇Off

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システムディスプレイ設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊画質設定

項目	詳細
シャープネス	画像のシャープネスモードを選択します。 〇高 ●中 ●低

①停止状態で**ホーム**ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊動画処理

項目	詳細
ビデオモード	ビデオモードを選択します。 〇標準 ●鮮やかさ ●**スムース**

システムオーディオ設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
　前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊オーディオ出力設定　**※通常以下の設定は変更しません。**

項目	詳細
SPDIF	SPDIFモードを選択して下さい。 〇ビットストリーム ●PCM ●再エンコード ●OFF
HDMI	HDMIモードを選択して下さい。 ●ビットストリーム ●PCM ●再エンコード ●OFF
サンプリング周波数	ダウンサンプリングを選択して下さい。 ●48k ●96k ●192k
ダイナミックレンジ	DRCモードを選択します。 ●オフ ●オン ●自動

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

システムオーディオ設定

①停止状態でシステム設定ボタンを押して**ください。**
②カーソルの◀▶ ボタンで設定の項目を選択します。
③カーソルの ▼▲ボタンで移動し、システム設定の項目をハイライトします。
④カーソルの ▶ボタンでさらなる詳細を選択します。
　前のメニュー項目に戻るにはカーソルの◀ ボタンを押します。
⑤決定ボタンを押して決定します。
⑥メイン設定画面に戻るには戻るボタンを押します。
⑦設定画面を閉じるには設定ボタンを押します。

＊スピーカー設定　　**※通常以下の設定は変更しません。**

項目	詳細
オーディオチャンネル	２．Ｘ
テストトーン※1	テストトーンモードを選択して下さい。 ●サイズ　(大/小)※2 ●トリム　(L/R)※3 ●ディレイ(L/R)※4

※1 テストトーン：テストトーンを出して部屋にあわせた音場設定ができます。
※2 サイズ　　：部屋サイズの設定
※3 トリム　　：音圧レベルの設定
※4 ディレイ　：音の遅延時間設定

※システム設定は必ずディスクを入れない状態で設定変更してください。

お手入れ

本体のお手入れ

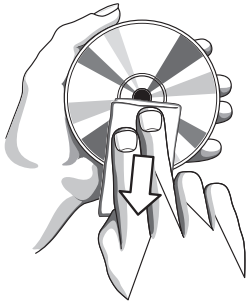
柔らかい布でからぶきします。
シンナーやベンジン、アルコール等は、表面を傷めますから使用しないで下さい。

ピックアップレンズのお手入れ

再生中に映像が乱れたり音飛びが起きたりする時は、レンズの汚れが原因の場合があります。
市販のBDレンズクリーナーなどを使ってクリーニングしてください。
・ごみやほこりがついたとき
　ブロワー（市販）でレンズを数回吹いてごみをとばします。
・指紋などがついたとき
　ブロワーで除去できない場合は、レンズクリーナー（市販）を利用します。
　注意：レンズ表面には指やブロアーで絶対に触れないで下さい。

ディスクのお手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときにはきれいな柔らかい布で中央から外に向かって軽くふきます。



故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に以下の項目をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

症状	原因
電源が入らない。	・電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていない。 ・電源がOFFになっている。
リモコンが機能しない。	・リモコンと本体との間に障害物がある。 ・リモコンと本体との距離が遠い。 ・リモコンが本体センサーの方向に向っていない。 ・リモコンの電池が正しく挿入されていないか、電池が消耗している。
音声が出ない、小さい。	・一時停止またはスロー・早送り・早戻し再生モードでの再生中。 （再生ボタンを押して通常再生に戻して下さい。） ・映像/音声出力が正しく接続されていない。 ・音声ケーブルがしっかりさしこまれていない。 ・TVリモコンの音声が0になっている。
映像がでない。	・リージョンコードの異なるディスクを使用している。 （A（BD）、2またはALL（DVD）のディスクしか再生できません） ・機器が適切に接続されていることを確認して下さい。 ・テレビの電源、映像モードが正しく設定されているか確認して下さい。 ・映像出力を確認して下さい。
画像が乱れる。	・ディスクが汚れている。 ・ディスクに傷がついている。 ・ビデオケーブルの接続プラグ、あるいは端子が汚れている。
ディスクが再生できない。	・ディスクが入っていない、またはディスクの裏表が逆になっている。 ・気温の変化によって本体内部に結露が発生した可能性があります。 （しばらく時間をおいて結露を解消させてから再度再生させて下さい） ・リージョンコードの異なるディスクを使用している。 （A（BD）2またはALL（DVD）のディスクのみの対応です。） ・電源をOFFにし、しばらくしてから再度電源を入れてみて下さい。 ・録画したDVDディスクの場合ファイナライズされたものでないと再生できません。 ・一般市販ディスク以外は書き込み状態によっては再生できない場合があります。

仕様

再生可能ディスク	BD-ROM/BD-R/BD-RE※1・2 DVD-Video DVD-R/-RW, DVD+R/RW※3・4・5 DVD+R/-R DL※3・4・5 DVD-RAM CD-R/-RW※6
静止画像再生	JPEG
映像信号	NTSC
映像出力端子	RCA HDMI映像出力: オート、480p、720p、1080i、1080p
音声出力端子	RCA音声出力端子
その他端子	USB(正面)、LAN(背面)
電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	(W)360×(D)225×(H)48mm
重量	約1.5kg(本体)
消費電力	約16W

※1 :家庭用BDレコーダー(HDD搭載タイプ含む)で作成したディスクの標準録画はDRモードです。
ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
※2 :家電用BDレコーダー(HDD搭載タイプ含む)はメーカー独自の録画方式がありますが、いずれの方式にも対応していません。
※3 :16:9および4:3の映像が混在して録画されている場合はいずれか一方の表示で再生される場合があります。
※4 :家庭用DVDレコーダーで作成したディスクは、VRモード(標準画質録画)で作成し、ファイナライズ処理されたディスクに限ります。ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
※5 :家庭用DVDレコーダーで作成したデジタル放送(地上波・BS・CS)を録画したディスクにはCPRM信号が入っており、対応しているDVDプレーヤーで再生できます。本機はCPRM対応機のため、デジタル放送を録画したディスクの再生もできます。ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。
※6 :音楽用CD-R/-RWは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

●本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

● 修理を依頼される場合

1. 故障の時は、使用を中止して修理を申しつけください。
   故障のままでの使用やご自分での修理は危険です。
2. 修理は、お買い上げの販売店に商品をお持ち込み頂き故障状況をご案内ください。
3. 保証期間中は、保証書の記載内容に基づき修理をいたします。
4. 保証期間が過ぎた場合、修理により機能が維持出きる場合は、ご要望により修理いたします。
5. 本機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。
   又、保有期間が経過した後も故障修理個所により修理可能な場合がありますので、お買い上げの店にお問い合わせください。

● 無料修理規定

1. 正常な使用状況(取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った使用状況)で故障した場合。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、必要事項が書き込まれた本保証書を提示ください。
3. 保証期間内でも次の場合には、有料となります。
   ㈰本書の提示が無い場合。
   ㈪本書にお買い上げ年月日、お名前、製造No.の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
   ㈫使用上の誤り、他の機器から受けた障害、又修理や改造による故障または損傷。
   ㈬火災、地震、水害、落雷、その他自然災害及び異常電圧、その他の外的要因による故障、損傷。
4. 保証期間1年